

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

R7.2.7

法人名	ながおか医療生活 協同組合	代表者	羽賀 正人	法人・ 事業所 の特徴	市内で診療所、こどもクリニック、歯科クリニック等の医療サービスや様々な介護保険事業を運営している法人が2010年4月に開設。地域交流スペース「わいが家」を併設し、地域住民との交流の場になっている。診療所、居宅介護支援事業所をはじめとした複数の同法人事業所が近隣にあり連携に努めている。ご利用者ひとりひとりの笑顔を引き出す事を目指し柔軟性ある個別ケアに取り組んでおり、近年は感染症予防対策を行いながら近隣のこども園との交流も行っている。
事業所名	プラット新町	管理者	松本 優子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	3人	1人	1人	1人	3人	3人	0人	15人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	●『担当職員紹介シート』の作成にむけ役割分担や内容の検討・完成を目指す。それを活用し担当職員としてご利用者・ご家族から相談しやすい関係づくりをする。 ●事前訪問にはできる限り現場職員も同席できるよう配慮し、初回利用時よりご本人やご家族から安心してサービスを利用していただけるようにする。 ●研修・勉強会の予定を計画的に立て、職員全員で学びを深める。伝達講習の場合は、講習後でもその資料がいつでも閲覧できるようにスタッフルームに置く。	●『担当職員紹介シート』の作成と代わり、『ミニプラットだより』を作成し、1か月間の活動の様子や担当職員からのコメントを入れご利用者やご家族と職員との関係づくりをおこなった。 ●現場職員の事前訪問は体制上難しい面があった。新規ご利用者の情報をカンファレンス等で職員の周知。安心してサービスを利用していただけるよう配慮する。 ●研修はあらかじめ計画を立てていたが、年度の途中に入ってきた研修にも参加できるよう適宜研修参加を組み入れました。	●連絡帳だけではなく、ミニプラット便りでご本人の近況を伝える取り組みは、喜ばれていると思うので、継続して行って欲しい。 ●運営推進会議等で、聞きたい地域の情報等を話しても良いと思います。 ●運営推進会議以外で、地域に関わる機会を作ってみると良いと思います。 ●具体的な計画でないと評価がしにくくなるように思います。また、職員全員で取り組む計画だとは思いますが、「研修参加を促す」との記載がありました。個人に特化した計画のように感じます。	●ご本人の近況や施設での活動の様子をご家族に知っていただけるように、ミニプラット便りの発行を継続していく。 ●引き続き「興味・関心」シートを活用し、本人の「～したい」ことを把握、できるところから実施し利用者に成功体験を感じていただく。 ●研修・勉強会の年間計画を立てる。年度途中でも研修の情報を収集し、適宜参加する。参加した職員からは、職員全員が理解できるよう講習会を開催してもらう。
B. 事業所の しつらえ・環境	●玄関前に季節の花々を植えたり内玄関や看板にご利用者の作品や季節に応じた飾り付けを施すなど、施設に入りやすい環境を作る。 ●地域交流スペースにご利用者が作成した壁画、活動写真を定期的に掲示するとともに、ご利用者	●入口を入って直ぐにご利用者の作品が目に入るように、玄関スペースの掲示の配置変更。入りやすい環境を作る。 ●地域交流スペースにご利用者の作品や活動写真、機関紙等を掲示。来所される組合員さんより好	●インターホンを押すと直ぐに職員が対応してくれます。 ●訪ねて行ったとき、事業所は常に開錠されています。 ●送迎時や事業所内に入った時に不快な音や臭いがないことがわかりました。 ●ご家族・ご利用者アンケートで	●事業所で開催される季節の行事などをご家族に声がけし、ご利用者の日頃の様子や施設内を見てもらえるようにする ●地域交流スペースの作品掲示スペースに、ご利用者の作品や活動の様子が分かる写真を貼り出し、日々の活動の様子を地域の

	やご家族・地域の方々から作品を見に来ていただけるように、案内文やチラシの掲示・広報紙で『お知らせ』を載せるなどして、施設を知っていただけるような取り組みをする。	評を得ています。地域の方への呼びかけが出来ていませんでした。	居心地の良い空間であることが確認できます。 ●実際に中に入ったことがないですが、玄関での対応などで居心地の良い空間だとわかります。 ●日中に事業所を訪ねて行ったことがないので分かりません。	方々にも感じていただけるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	●感染予防対策を行いながら、こども園との交流を継続していく。 ●年4回の施設広報誌を回覧板に引き続き入れさせていただく。 ●交流スペースに展示しているご利用者の作品を見ていただけるように、『お知らせ文』を回覧板に入れさせていただき、地域の方に事業所の活動を知ってもらえるようにする。 ●コミュニティーセンターと関係を構築し、地域の情報を共有できるような取り組みをする。	●こども園とは ZOOM や作品交換のほかに新町小学校児童来所してもらいゲームや合唱で交流できました。 ●ご利用者の作品の『お知らせ文』を回覧板に入れる事はできませんでした。 ●コミュニティーセンターとの関わりをとることはできませんでした。	●こども園とオンラインで交流していると思います。 ●こども園の行事やイベントに参加しています。交流があります。 ●町内会への参加や地域交流への参加の機会があり地域のイベントに参加していると思いました。 ●あいさつは送り迎えに行ったとき、いつも挨拶してくれています。 ●回覧板で施設の広報紙を回覧しているため、地域住民の方に知られていると思います。	●こども園や小学校とのイベント・行事の交流や福祉・介護の理解を踏まえた交流を継続する。 ●施設広報紙(プラットだより)を回覧板に入れさせていただく。(前年度からの継続) ●交流スペースわいが家の展示スペースの活用を継続。施設広報紙(プラットだより)で展示品の見学案内を掲載し、地域の方々へ来所を呼びかけ交流を図る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	●コロナ禍以前に年2回実施していたバスハイクを、感染予防対策を徹底した上で再開していく。その際、ご家族もお誘いし、普段一緒に出かけられない方々にも楽しんでいただく。 ●担当職員との会話の中で知り得た本人の希望(やってみたい、行ってみたい)を実現させる取り組みを実施し、ご利用者・ご家族との関係づくりや地域との関わりを深める。 ●認知症カフェ(オレンジカフェ)に継続して参加する。	●年2回のバスハイクで春は『新潟ふるさと村』と秋は『天領の里』に出向きました。ご利用者、ご家族ともに好評でした。 ●『興味・関心シート』の項目を用いてご利用者と会話しながら、本人の『～したい』を理解したが、取り組みは一部のご利用者のみになってしまいました。 ●認知症カフェは定期的に参加することが出来ました。	●バスハイクや外出ドライブなど当日の様子、出かけた様子を報告してもらえています。バスハイクなどで利用者や家族の希望を聞いてくれていると思います。 ●行事に仕組み、外出の機会を持っているため、事業所の中だけに閉じ込めていないとおもいます。 ●施設の広報紙に地域の行事やイベントに参加している様子が掲載されているところから、参加している様子が分かります。	●年2回のバスハイクの継続。ご家族にも参加の呼びかけをおこない、一緒に楽しんでいただけるようする。 ●継続して興味・関心シートを用いて本人『～したい』を把握していく。 ●知り得た本人の希望(やってみたい、行ってみたい)の実現化にむけ、早期に計画し取り組む。 ●認知症カフェへの参加継続。職員が参加できるよう年間予定を立てる。

E. 運営推進会議を活かした取組み	●運営推進会議で委員の方からいただいた意見等を、事業所の会議やミーティングなどで周知して地域の中での課題を理解するとともに、その意見について話し合い改善策を実践し事業所運営の発展に繋げる。 ●できる限り多くの職員が会議に参加することで、事業所運営や地域の中での課題を理解する。	●ヒヤリハット報告等でいただいた意見を職員と話し合いながら、改善策に繋げ再発防止につなげる事が出来ました。 ●職員配置が厳しく参加できる職員が限られてしまいましたが、会議でいただいた意見を職員に周知し、地域での課題や運営に関して把握することが出来ました。	●入念に資料が作成されていると思いますので、分かりやすく事業所の取組みが理解できます。 ●以前より介護現場の職員が会議に参加できているように感じ、良かったと思います。 現実的に現場職員が運営推進会議に参加できるように、工夫出来たらよいと思います	●運営推進会議でいただいた意見を部署会議等で職員全員に周知し、改善策の検討事業所運営の改善につなげる。 ●職員が運営推進会議に参加し地域の課題を把握できるよう、年間予定をつくり職員体制を整えていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	●近隣施設との合同避難訓練を実施し、得た課題や気づき・反省点などを振り返りながら、現実的な対策を立て、万が一の際に繋げられるようにする。 ●近隣施設や町内会などお互い協力し合える組織作りをするために、地域での防災体制計画相談時や合同防災訓練に出来る限り参加する。	●近隣施設との合同避難訓練を通して課題点や反省点を振り返ることが出来き、次回の訓練に役立てるよう改善案を記録に残しました。 ●地域の防災計画に参加しましたが、参加回数が少なく具体的な防災計画に関わることが出来ませんでした。	●防災計画は今回の添付資料から分かりました。防災計画が立てられている事を確認できました。 ●実際に災害時に対する訓練をしていますし、防災計画などあるので頼りにしています。 ●防災訓練があることは分かっています。 ●災害時、必ず職員が常駐しているので頼りになるそうと思います。	●近隣施設との合同訓練後の振り返りを重視し、そこで得られた課題や問題点・反省点を協議し、災害時に繋げられるよう改善策を立てる。 ●災害時に地域と協力し合えるように、地域の災害訓練や町内の総会などに参加し、地域の方に事業所を知っていただくようにする。